



令和8年5月13日  
国土交通省 東北地方整備局  
福島河川国道事務所

～ 阿武隈川緊急治水対策プロジェクト ～  
阿武隈川上流遊水地の「試験ほ場」で作付けを行います

令和元年東日本台風の際、阿武隈川流域においては、既往最大の洪水により堤防が決壊するなど各地で甚大な被害が発生したことから、県や沿川市町村とともに『阿武隈川緊急治水対策プロジェクト』を策定し、ハード・ソフト両面から治水対策を推進しているところです。

このプロジェクトの一環として、洪水を一時的に貯留することで下流の浸水被害の軽減を図る遊水地の整備を鏡石町・矢吹町・玉川村において進めています。

併せて、平常時に遊水地を利活用してもらうため、有識者及び3町村からなる地内利活用検討会を開催してきており、その一環として昨年より、農業技術支援をいただきながら遊水地内に「試験ほ場」を設置し、遊水地内を農地として利用できるか、稲の生育を確認してきています。

今般、2年目となる作付けを次のとおり実施いたしますのでお知らせいたします。

1. 実施日時・場所等

●日 時：令和8年5月15日（金） 9：00～10：00

※当日の天候により時間が変更になる場合があります。

●場 所：福島県西白河郡矢吹町陣ヶ岡地内（阿武隈川右岸、第二遊水地予定地）

●その他：

取材を希望される場合は、別添1を確認の上、別添2を事務局までメールにて送付してください。（メール受付期限：令和8年5月14日（木）17：00まで）。

※当日の気象・地震等の状況により中止となる場合があります。

発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、郡山市記者クラブ  
須賀川市記者クラブ、白河記者クラブ

問い合わせ先

○国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所  
福島県福島市黒岩字榎平36 TEL024（539）6125

事業対策官 五代儀 貴史（内線208）

【報道機関の方へ】

阿武隈川上流遊水地事業「試験ほ場（水田）作付け」の実施について

標記について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 開催日時

令和8年5月15日（金） 9:00～10:00

※当日の天候により時間に変更になる場合があります。

2. 開催場所

福島県西白河郡矢吹町陣ヶ岡地内（阿武隈川右岸、第二遊水地予定地）

3. 報道関係者の事前受付

- 取材いただく場合には、別添2にて事前に取材登録をお願いします。
- 受付〆切：令和8年5月14日（木）17:00まで

4. 取材に当たっての注意事項

取材に当たっては、以下の注意事項をご確認いただき、その遵守へのご協力をお願いします。

- 取材に必要な電源は、各社（各自）にてご用意ください。
- 事故防止の観点から、取材に当たっては節度のある行動をお願いします。
- 手荷物、貴重品等の管理は各自にてお願いします。

<参加登録 担当者>

福島河川国道事務所 工務第一課 五代儀・加藤 行

Mail : [iyogi-t82ac@mlit.go.jp](mailto:iyogi-t82ac@mlit.go.jp)

: [katou-r82ad@mlit.go.jp](mailto:katou-r82ad@mlit.go.jp)

Fax : 024-539-9184

「試験ほ場 水田の作付け」について（開催日：5月15日）

## 取 材 申 込 書

標記について、取材をご希望の報道機関におかれましては、事前にご登録をお願いいたします。

送信期限： 5月14日（木）17：00まで

ふりがな お名前（取材者名）	
御社名・部署名	
ご連絡先（TEL）	
ご連絡先（FAX）	
ご連絡先（E-mail）	
取材人数	人
テレビカメラの有無	有 ・ 無 ▶「有」の場合 _____ 台

## 「試験ほ場」案内図



出展：地理院地図に案内情報を追加して掲載

- ①あぶくま高原道路・玉川ICから国道118号を須賀川方面に向かって、県道141号との交差点(玉川駐在所前交差点)を左折
- ②堤防つきあたり、堤防天端に上がり右折



出典：地理院写真に案内情報を追加して掲載

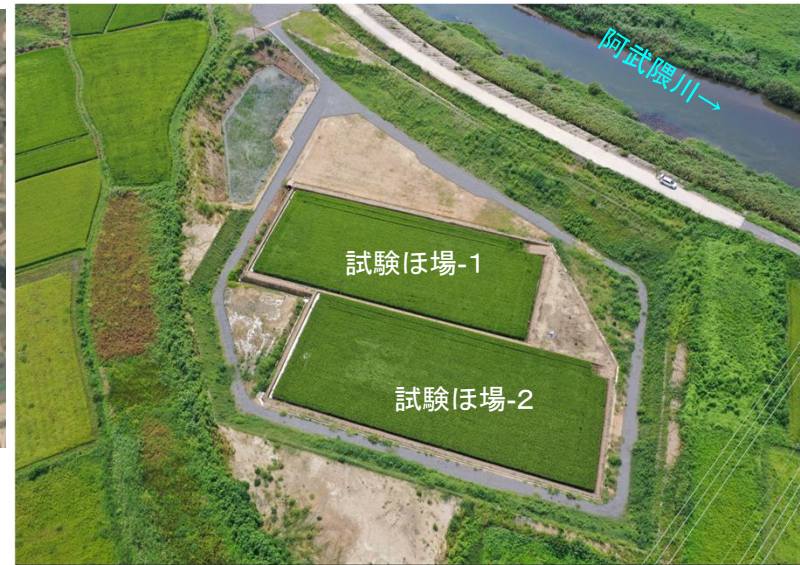
# R8 試験ほ場の取組み(水田)

○「試験ほ場」は専門家の技術指導の下、掘削後の遊水地内で技術的に耕作可能かを確認するため、昨年に引き続き第二遊水地において稲の作付けを行います。

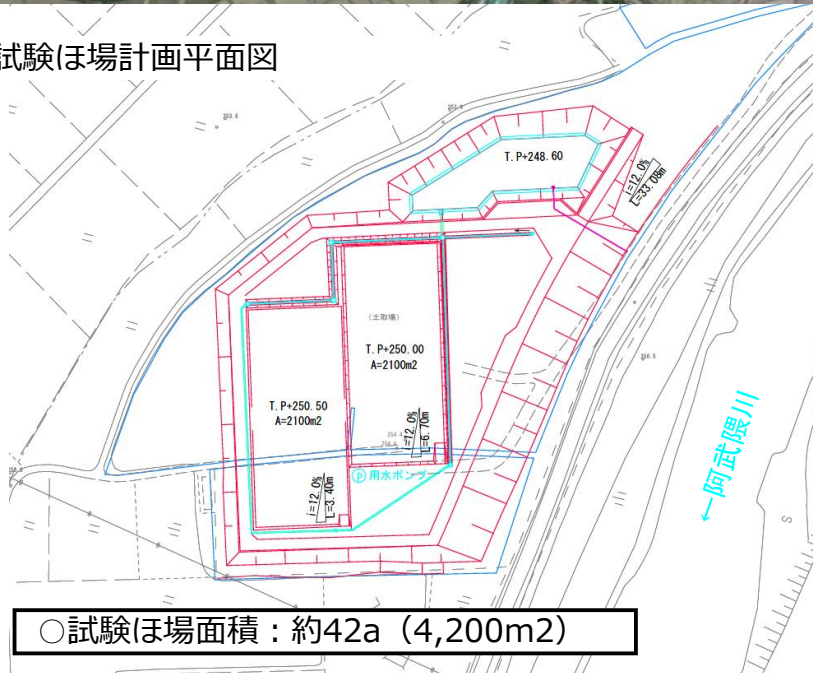
第二遊水地 試験ほ場整備箇所位置図



昨年の試験ほ場【水田】 (R7.8.20時点)



試験ほ場計画平面図



昨年5月の作付けの様子



昨年の稲の状況



# 【参考】R7年の試験ほ場 収穫・収量・品質調査結果

- 令和7年の作付け品種は、地元で広く流通している「コシヒカリ」とし、5月15日に作付け、9月25日に収穫。
- 耕作地においては土壌調査や生育調査を行うとともに収穫について収量・品質調査や食味試験を実施。
- 収量(玄米重)については、試験ほ場-1が約1.2t、試験ほ場-2が約1.3tとなり、10aあたり約600kgで、R7東北平均557kgを上回る結果となった。【福島県中通り平均は540kg】
- 品質については、食味検査において鑑定値が78~81点(やや良)となり、対照ほ場の90点には及ばなかったものの十分な品質を確保する結果となった。

## 生育調査

ほ場	稈長(cm)	根の深さ(cm)
試験ほ場-1	107.9	21.4
試験ほ場-2	106.1	18.2
対照ほ場	90.8	20.8

## 収量

ほ場	面積(a)	収 量	
		玄米(kg)	単収(kg/10a)
試験ほ場-1	21	1248.60	594.60
試験ほ場-2	21	1307.10	622.40
対照ほ場	40	2020.4	505.10



籾、収穫状況



収穫された米(左:試験ほ場-1 右:試験ほ場-2)

## 食味鑑定団

検体		食味鑑定団					チャートグラフ
検体名	種類	食味鑑定値(点)	外観評価(点)	硬さ評価(点)	粘り評価(点)	鮮度評価(点)	
試験ほ場-1 白米 2025年 福島県産 コシヒカリ	精米	81	8.6	4.2	9.3	8.5	
試験ほ場-2 白米 2025年 福島県産 コシヒカリ	精米	78	8.1	4.1	9.2	8.6	
対照ほ場 白米 2025年 福島県産 コシヒカリ	精米	90	9.5	3.4	9.1	9.2	

### 【参考: 評価基準】

- ・食味鑑定値は100点満点(普通:60~70)
- ・外観評価・粘り評価、鮮度評価は10点満点(普通[外観・粘り]:6~7、鮮度:7~8)
- ・硬さは5点を標準的な硬さとして、軟らかくなると点数が減少

【解析】(株)サタケ 穀物分析センター